

① 造林方法が人工造林の場合

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

平成 30 年 5 月 31 日

〇〇市長 殿

伐採した森林が所在する市町村の長とする。

法人の場合は法人登記印を、個人の場合は認印を押印する（ただし、個人で自署の場合は押印省略可）。

住所 〇〇市△△町 1-2-4

報告者 氏名 森林 花子 印

提出日は、造林の期間の末日から 30 日以内です。

平成 29 年 10 月 1 日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第 10 条の 8 第 2 項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

〇〇 (市) △△ (町) 大字 〇〇 字 △△ 1234-1 番地、1234-2 番地
郡 村

①造林（伐採）箇所ごとに報告書を作成する。
②複数地番にまたがる場合は、該当する全ての地番を記載する。

届出書の「伐採の計画」に従ったものとする。

2 伐採の実施状況

伐採面積	2.00 ha	全ての地番の合計面積を記載する。 ※小数第 2 位まで記載（第 3 位で四捨五入）
伐採方法	皆伐・択伐	伐採率 100%
伐採樹種	スギ	伐採率は、立木材積による伐採率（%）とする。
伐採の期間	平成 29 年 12 月 15 日～平成 30 年 2 月 15 日	届出書に記載した期間に収める。

3 伐採後の造林の実施状況

	造林の方法	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の造林本数
人工造林	植栽	平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 5 月 18 日	スギ	1.00ha	3,000 本
			ヒノキ	1.00ha	3,000 本
天然更新				ha	本

届出書の「伐採後の造林の計画」に従ったものとする。

複数の樹種を造林した場合は、樹種ごとに記載する。

4 備考

平成 30 年 3 月 1 日に森林太郎から相続（共有者：森林次郎ほか 2 名）

注意事項

- 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 氏名を自署する場合には、押印を省略することができる。
- 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 面積は、小数第 2 位まで記載し、第 3 位を四捨五入すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びびくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。
- 人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

①伐採後の用途が森林以外（転用）である場合、その用途及び時期を記載する。
②相続等により届出書とは異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報を記載する。